

新設獣医学部についての基本的考え方

全国協議会会長 稲葉 睦

全国大学獣医学関係代表者協議会、ならびに（公社）日本獣医学会は、昨年6月、国家戦略特区における獣医学部新設を巡る政府対応について二度にわたり共同で声明を公表し、日本の獣医学教育改善の現状と未来に向けた方策の理解を国民に訴えるとともに、獣医師の需要・供給バランスにおける諸課題と獣医学教育の現状について本質的で適切な検討を行うことを内閣総理大臣ならびに関連する行政関係者に求めたところである。

その後、文部科学省の大学設置・学校法人審議会における審議を経て、昨年11月、文部科学大臣は岡山理科大学獣医学部の平成30年4月新設を認可した。この間、私たちが不可欠とした事項の検討が全く行われぬままに新設認可に至ったことは極めて遺憾と言わざるを得ない。私たちが二度の声明で表明した内容は、国民の日常生活を支え、人・動物・環境の健康・健全を担う獣医師の養成教育の質向上に普遍の重要性をもつものであり、引き続き日本政府と行政関係者の明確・真摯な認識と対応を求めるものである。

一方で、新設された獣医学部における学生の獣医学教育は、日本の獣医師養成教育とその改善全体のなかで捉えるべきものである。したがって、その教員組織である全国大学獣医学関係代表者協議会は、新設学部に対して国際水準化を目標とするわが国の獣医学教育改善の趣旨と方策への理解と実践を求めるとともに、その教育の質の向上に一体となって取り組むものである。

（第108回全国大学獣医学関係代表者協議会にて承認、2018年3月26日）